



平成26年4月30日

各 位

会社名 名古屋電機工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 干場 敏明
(コード番号 6797 名証第二部)
問合せ先 取締役 江州 秀人
(TEL. 052-443-1111)

固定資産の減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年3月期において、下記のとおり固定資産の減損損失を特別損失に計上することといたしましたのでお知らせいたします。

また、平成26年1月31日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失の計上について

当社検査装置事業において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなり減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（2億12百万円）として特別損失に計上いたしました。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として測定しております。

2. 業績予想の修正について

平成26年3月期通期業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,000	100	130	480	79.66
今回修正予想 (B)	14,304	727	760	839	139.39
増減額 (B-A)	304	627	630	359	
増減率 (%)	2.2	627.0	484.6	74.8	
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	11,768	△773	△711	△824	△136.84

修正の理由

情報装置事業において、幅広い受注活動を行い国土交通省、高速道路会社及び地方自治体向けの案件が増加したことなどにより、売上高は計画を上回りました。また、受注済み案件の契約金額増額や一部工程の内製化によるコスト削減などにより、利益面は改善しました。以上の理由により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を上回りました。

以上